

66 コアジサシ

(チドリ目)

Sternula albifrons

兵庫県ランク: A

繁殖個体群:A 越冬個体群:無 通過個体群:A

環境省ランク: VU

種の概要

アフリカ、ヨーロッパ、アジア、オーストラリア沿岸の温帯から熱帯域で繁殖し、北方のものは繁殖後は熱帯域から南半球の沿岸に渡り、越冬する。日本には春に渡来し本州、四国、九州、沖縄で繁殖する。海岸、河川沿い、湖沼に生息し、海岸の砂浜や河川の中州、埋立地などの砂礫地に集団で営巣する。主に小魚類を採食する。

国内分布

北海道、本州、佐渡、舩倉島、竹島、見島、四国、九州、壱岐、五島列島、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島、日本海北部、日本海南部、太平洋北日本沖、太平洋本州中部沖、太平洋南日本沖、伊豆諸島沖、東シナ海、南西諸島沖

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★尼崎市、★明石市、★西宮市、洲本市、★芦屋市、★伊丹市、加古川市、赤穂市、宝塚市、三木市、高砂市、養父市、南あわじ市、朝来市、★淡路市、加東市、たつの市、★稲美町、播磨町、香美町



写真提供：森田俊司

(性別：不明)

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
○	○			○	○	○	○	○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

BランクからAランクへ変更。

県内では4-9月に生息し繁殖する。かつては主に県南部の各地で集団繁殖していたが、近年は自然の繁殖適地がほぼ消滅し、残された砂浜や埋立地の裸地で僅かに繁殖する程度となっている。最近では、観察されることが極めて少なく、繁殖地も極めて限られている。極力、現在の繁殖地の厳重な保全及び新たな繁殖環境の創出が必要とされており、Aランクに変更した。

保護上の留意点

現在コロニーが形成されている造成地などの砂礫地が消滅した場合、本種の生息は極めて危機的な状況に陥ると考えられる。本種の保全のためには、海岸近くで一定の広さを持つ砂礫環境の確保および人工構造物の屋上などに繁殖環境を創出・維持するなどの努力が必要。汚水処理場の屋上で繁殖を成功させている例もある。また、砂浜や河川敷の砂礫地といった自然の繁殖環境の再生や繁殖期の人の立ち入り制限などの措置もあわせて行うことが必要。